

1. 基本情報						
事務事業番号	02053	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			担当課	建設施設管理課
施策名	003	快適生活の基盤づくりの推進			グループ	道路管理グループ
基本事業名	002	道路ネットワークの構築と道路施設の維持			内線番号	2765
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	01	土木管理費		期間限定複数年度(~)	
目	01	土木総務費		根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>市が管理する市道・橋梁の台帳及び台帳図を整備する。 毎年度、工事等により延長や幅員等に変更が生じた路線や新規認定、廃止等を行う予定の路線について、必要に応じて現地測量を実施し、必要な手続きを行った後、台帳の補正を実施する。 台帳を整備することで、道路(市有地)と民地の境界が明確になるとともに、市道の全体像を把握し、適切な機能確保を図れる。</p>						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)	
ア 認定・変更・廃止路線数	本	25	20	19	20	20
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,629	1,630	1,629	1,630
イ 橋梁	橋梁数	橋	654	654	654	654
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	100	100	100	100
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>建設現場へのICTの導入など、新たな整備手法を視野に入れながら、交通環境の整備や改善に向けた取組を推進します。 特に、市街地の渋滞を解消するため、国道・県道の整備に関する要望活動を継続的に行うとともに、幹線道路のバイパス道路や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 また、道路施設や橋梁・トンネルなどの個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策及び補修等を計画的に実施します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 当初予算	4年度 計画		
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 財産管理及び地方交付税等の資料として必要不可欠なものであることから、整備・改良等が完了した箇所以外の宅地開発により市へ寄贈された道路についても市道認定が可能な道路については認定したうえで、調査測量を実施し台帳へ反映させる。		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	5,409	6,887	5,820	6,887	6,887
		事業費	千円	5,409	6,887	5,820	6,887	6,887

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
補正データ作成測量業務委託 3.28km(14路線) 道路・橋梁台帳補正 3.26km(19路線・市内一円)	道路・橋梁台帳の整合性を保つため、前年度に道路改良等の工事が完了し、道路情報に変更が生じた路線について区域決定・共用開始等の告示を行い台帳補正を行った。 道路・橋梁台帳を整備することにより、市道の整備や維持管理業務の効率化と市道に係る許認可申請審査業務に対する利便性・迅速性が向上するとともに、地方交付税の算定基礎となる道路数値を把握することができた。

事務事業 番号	02053	事務 事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		市道（行政財産）を管理するうえで、台帳整備は不可欠なものであるため。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	財産管理及び地方交付税等の資料として必要不可欠なものであることから、整備・改良等が完了した箇所以外の宅地開発により市へ寄贈された道路についても市道認定が可能な道路については認定したうえで、調査測量を実施し台帳へ反映させる。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	道路改良等に伴い完成した路線等の道路台帳調書・道路台帳図への反映・整備。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02062	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			担当課	建設施設管理課
施策名	003	快適生活の基盤づくりの推進			グループ	道路維持グループ
基本事業名	002	道路ネットワークの構築と道路施設の維持			内線番号	2761
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成18年度 ~)	
	項	02	道路橋梁費		期間限定複数年度(~)	
目	目	01	道路橋梁維持費	根拠法令・条例等	道路法(第16条)	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。主な業務内容は次のとおり。
 市道の陥没や側溝閉塞(落ち葉などで水路が詰まること)、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握
 現場状況確認
 実施要否判断
 関係機関と協議
 修繕や改修工事・委託の発注
 工事委託終了後の検査
 日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治体に協働で行ってもらっている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	603	700	631	700
イ 草払い延長	Km	785	800	784	800
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,608	1,608	1,608	1,608
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	85	87	86.50	87
イ 良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	85	87	86.50	87
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 建設現場へのICTの導入など、新たな整備手法を視野に入れながら、交通環境の整備や改善に向けた取組を推進します。
 特に、市街地の渋滞を解消するため、国道・県道の整備に関する要望活動を継続的に行うとともに、幹線道路のバイパス道路や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。
 また、道路施設や橋梁・トンネルなどの個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策及び補修等を計画的に実施します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 道路の維持管理に関する市民からの要望については、緊急性の高いものについては優先に対応していく。
 また、草払い等については、今後も業者委託以外は、職員や作業員、地域ボランティア活動等との連携を取りながら対応していく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度	2年度		3年度	4年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	304,889	334,199	332,687	343,478	343,478
事業費	千円	304,889	334,199	332,687	343,478	343,478

5. 令和2年度の実績及び成果

(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
道路補修・側溝修繕を631件実施した。(国分地区が286件、隼人地区が125件、溝辺地区が54件、横川地区が39件、牧園地区が53件、霧島地区が49件、福山地区が25件)また、その内、まちづくり計画にある要望も142件実施した。 ・道路維持管理・高所木伐採を29件実施した。(国分地区8件、隼人地区10件、溝辺地区2件、横川地区1件、牧園地区5件、霧島地区3件) ・草払いを業務委託で784km実施した。 ・月曜日にパトロールを実施し、道路の不具合箇所を発見してもらった。	市道等における市民からの要望・苦情に対して、緊急に補修・修繕等の必要な箇所については、道路補修・側溝修繕等を実施し、要望・苦情を解消し、市民の安全な通行を図ることができた。

事務事業 番号	02062	事務 事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であるが、道路の劣化により年々修繕箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望が増えていることから、維持管理費が増加しており、経費確保に苦慮している状況である。このような状況であるが、住民からの要望・苦情も増加していることから、事業費の削減の余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	道路の維持管理に関する市民からの要望については、緊急性の高いものについては早急に対応していく。また、草払い等については、今後も業者委託以外は、職員や作業員、地域ボランティア活動等との連携を取りながら対応していく。					
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	委託業者及び市職員による市道パトロール強化に努め、危険箇所等を早期発見し、災害や事故等の未然防止を図る。道路の安全を確保することは、市民生活に直結しており、市道の維持管理業務は必要不可欠であることから、今後も増加していく要望等に迅速に対応する。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充						
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02064	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	建設施設管理課	
施策名	003	快適生活の基盤づくりの推進		担当課長	園畑 精一	
基本事業名	002	道路ネットワークの構築と道路施設の維持		グループ	道路維持第2グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ	内線番号	2773	
目	款 08 土木費		単年度繰返(開始年度		平成24年度	~)
	項 02 道路橋梁費		期間限定複数年度(~)
	目 01 道路橋梁維持費	根拠法令・条等	特になし			
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を、(1)年2回以上の道路の草払い(2)道路の清掃(ポイ捨てゴミ等の収集・処分)(3)道路の破損等の情報提供の活動を行う。事業費については、道路保全(草払い)区間に応じて、1団体につき30,000円~50,000円を限度に活動支援金を交付する。また、アダプトの道路区域には、アダプトサイン(看板)を設置する。これにより道路の環境及び機能の維持向上を図る。</p> <p>道路アダプト制度 目的:道路の環境保全及びその機能の向上を図るため、美化活動を行う市民活動団体等と市が共に協力し、支え合う共生・協働による快適で美しいまちづくりを推進する。 対象となる団体:市内の企業等の法人又は5人以上で構成する地区自治公民館、自治会、老人クラブ、PTAその他活動の継続性が保たれる市民活動団体。 対象となる道路:市道は、市が定めた道路(主要幹線道路)、国道・県道は市と協議がなされた道路で実施。</p>						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)
ア	道路アダプト制度の実施により、参加団体を募って、道路の草払い、清掃等を実施する	団体	65	75	76	80
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)
ア	市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	65	75	76
イ	霧島市内の市道・国道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km	127	134	143
ウ						137
ウ						157
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)
ア	アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	65	75	76
イ	草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	63	70	75
ウ						73
ウ						89
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>建設現場へのICTの導入など、新たな整備手法を視野に入れながら、交通環境の整備や改善に向けた取組を推進します。</p> <p>特に、市街地の渋滞を解消するため、国道・県道の整備に関する要望活動を継続的に行うとともに、幹線道路のバイパス道路や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。</p> <p>また、道路施設や橋梁・トンネルなどの個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策及び補修等を計画的に実施します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
引き続き、自治会等を中心とした登録団体の加入を斡旋するとともに、企業等の民間会社への参加を依頼するなど、登録団体の加入増化を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。		事業費	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	2,542	2,800	2,400	3,300
		一般財源	千円	8	120	588	60
		事業費	千円	2,550	2,920	2,988	3,360

5. 令和2年度の実績及び成果	
(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
令和2年度で新規登録団体として13団体を追加登録し、また脱退団体が1団体、休止団体が1団体の合計76団体による草払い・清掃等実施延長が75.7kmであった。	道路環境及び道路機能の維持向上が図られ、安全で快適に移動できるようになった。

事務事業 番号	02064	事務 事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	当該事業は市道等の安全な通行が確保され美観景観的な観点からも必要不可欠なものである。また、市民活動団体等と市が協力し支え合う共生・協働による美化活動も推進されるため継続して取り組むことが適当であると考えられる。しかし、既存及び新規活動団体への書類のやりとりや説明、問い合わせ等職員が要する時間が増加していることから必要書類等の見直しを行い簡素化を図れるよう改善をすることが必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			レ	
		維持				
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	引き続き、自治会等を中心とした登録団体の加入を幹旋するとともに、企業等の民間会社への参加を依頼するなど、登録団体の加入増加を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。					
(3) 令和4年度の方向性（具体的な取組）	引き続き、道路アダプト登録団体の増加を図るとともに、既存登録団体の登録期間更新を依頼し、継続したアダプト制度の充実を図る。					

8. 2次評価結果（担当部長評価）

				評価者	職・氏名	建設部長	猿渡 千弘
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					レ
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評	登録団体数は横ばいで推移しているものの、脱退する団体もあることから、活動における課題等について確認を行ったうえで、登録団体の増加に向けた検討を行う。						

1. 基本情報						
事務事業番号	02096	事務事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	建設施設管理課	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		担当課長	園畑 精一	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		グループ	公園管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 08 土木費 項 05 都市計画費 目 04 公園費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	都市公園法、霧島市都市公園条例	
			関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
霧島市の城山公園及び丸岡公園を除く都市公園について、指定管理者で運営・管理を行う。 現在指定管理者と協定締結している。 国分都市公園指定管理(18公園) 指定管理者:一般財団法人 霧島市施設管理公社 指定期間:R2.4.1~R7.3.31 隼人等都市公園指定管理(35公園) 指定管理者:公益社団法人 霧島市シルバー人材センタ 指定期間:H28.4.1~R3.3.31 有下公園 指定管理者:一般財団法人 霧島市施設管理公社 指定期間:R2.7.10~R7.3.31						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	53	54	54	58
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用者アンケートによる「期待した以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	92.55	90.50	96	91
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	165,804	222,100	140,070	222,200
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。 また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
公園長寿命化計画及び点検結果に基づき、緊急度、優先度に応じた修繕や遊具の撤去を行い、適切な維持管理に努める。	

4. 事業費の推移		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	4年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	41,830	40,916	41,155	41,661
	事業費	千円	41,830	40,916	41,155	41,661	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 国分都市公園指定管理 21,912,000円 隼人等都市公園指定管理 19,003,146円 有下公園指定管理 240,000円 国分都市公園利用者数 85,109人 隼人都市公園 54,961人	適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)により安心、安全、快適に利用者が利用でき、公園としての機能が確保できた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域や学校等の行事、グラウンドゴルフ等の大会など公園の利用を控える傾向が続いており、公園利用者数が減少した。

事務事業 番号	02096	事務 事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由
		市民の憩いの場である公園の安全性、利便性及び機能確保のため指定管理者による公園管理を行うことは、行政の効率化、経費削減のため有効であるとともに、利用者のニーズに対応したサービスの向上により利用拡大を図れる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	公園長寿命化計画及び点検結果に基づき、緊急度、優先度に応じた修繕や遊具の撤去を行い、適切な維持管理に努める。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、公園長寿命化計画に基づき、施設や遊具の修繕、改修を推進していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02097	事務事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	建設施設管理課	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		グループ	公園管理グループ	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		内線番号	2891	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	08	土木費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)	
	項	05	都市計画費		期間限定複数年度(~)	
目	04	公園費		根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>							
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)							
【施設の概要】 城山公園(国分)は、昭和53年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は15万8594㎡で、展望台(6階建725㎡)、休憩室(180㎡)観覧車、ゴーカート場(全長1300m)、電気自動車場、パターゴルフ場、児童広場(3600㎡)芝広場、SL展示、駐車場(268台)などの施設があります。営業時間は、9時30分~18時(4月1日~9月30日)9時30分~17時(10月1日~3月31日) 月曜日(休業日)							
【指定管理者】 公益社団法人 霧島市シルバー人材センター 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日 令和 2年4月1日~令和7年3月31日							
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	指定施設数	施設		1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件		19	18	5	18
ウ							
(2) 事務事業の目的							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	市民	人口	人	124,367	124,181	124,882	123,908
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる。	利用者アンケートによる「期待以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	97.60	96.80	98.90	96.90
イ	安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者(有料遊具利用者数等)	人	91,566	102,000	112,338	102,000
ウ							
(3) 総合計画との関係							
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)							
地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。 また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。							

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 指定管理者による適正な管理を行うとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先度により撤去、修繕を行う。		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 当初予算	4年度 計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	19,736	19,800	22,707	
	事業費	千円	19,736	19,800	22,707	19,745	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 城山公園指定管理料 20,610,659円 市の事業(公園改修事業)で、公園内の研修センター(展望台)の内部改修工事を実施し、3月末に完成した。 総事業費 117,000,000円	適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能を確保することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月中旬から5月初旬にかけて休業を余儀なくされ、その後も「3密」を避けるため自主事業の開催を見合わせた。しかし、新型コロナウイルス感染症の罹患を懸念し、県民が県外への外出を控えたこともあってか、来園者数が過去最高を記録する月が続いた(7ヶ月)。 また、指定管理者が利用者からの要望を受け、ローラースライダーの整備や老朽化して透明度が低下した観覧車のアクリル板をきれいなポリカーボネート板への交換を行ったことで、利用者の満足度の向上を図ることができた。

事務事業 番号	02097	事務 事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民の憩いの場である公園の安全性、利便性及び機能確保のため指定管理者による公園管理を行うことは、行政の効率化、経費削減のため有効であるとともに、利用者のニーズに対応したサービスの向上により利用拡大を図れる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	指定管理者と連携して、公園施設、備品の適切な維持管理を行う。公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先度により修繕、撤去を行う。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、指定管理者による適正な管理を行うとともに、公園長寿命化に基づく施設の改築・改修を推進する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02098	事務事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	建設施設管理課	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		担当課長	園畑 精一	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		グループ	公園管理グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ	内線番号	2891	
	款 08 土木費		単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~)			
	項 05 都市計画費		期間限定複数年度(~)			
	目 04 公園費	根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【施設の概要】 丸岡公園(横川)は、昭和43年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は27万2000㎡で、緑地公園、運動場、日本庭園、ゴーカート場(約1000m)スローカー、遊具、バンガロー、レストラン等の施設があります。また公園施設の他にや園内には、農業交流センターや横川勤労者技術研修館が併設しております。公園施設の営業時間は、9時~17時 毎週火曜日(休業日) 【指定管理者】 きりしまPPP株式会社 指定管理期間 平成29年4月1日~令和4年3月31日						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	12	13	13	11
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア	市民	人口	124,367	124,181	124,882	123,908
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる。	%	91	92	86	93
イ	安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	116,245	107,000	64,423	107,500
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。 また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 緑地広場の芝管理を適切に行い良好な景観を保つとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先度を考慮し、修繕改修を行う。		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 当初予算	4年度 計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	12,479	12,231	13,013	12,231
	事業費	千円	12,479	12,231	13,013	12,231	

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 丸岡公園指定管理料 13,013,000円	適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能を維持、確保することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月中旬から5月初旬にかけて休業を余儀なくされた。その後、公園全体としては利用者が大幅に減少したが、ゴーカートの利用者は増加し、ゴーカートだけは最終的には前年度以上の利用実績を上げることが出来た。

事務事業 番号	02098	事務 事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民の憩いの場である公園の安全性、利便性及び機能確保のため指定管理者による公園管理を行うことは、行政の効率化、経費削減のため有効であるとともに、利用者のニーズに対応したサービスの向上により利用拡大を図れる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	公園施設、備品の適切な維持管理を行うとともに、緑地広場の芝管理を適切に行い良好な景観を保つ。公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先度を考慮し、修繕改修を行う。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、公園長寿命化計画に基づき、施設の改修、改築を推進する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

